

	1)「入退院時情報共有シート」「訪問看護要約」を統一し、活用していることを知っているか	退院時における『医療機関から居宅介護支援事業所(又は地域包括支援センター)へ』		遠賀中間地域内の情報連携において、統一して運用している書式である「退院時情報共有シート」	
		2-1)実施について	2-2)③④⑤実施に至らなかった理由	3-1)使用について	3-2)その他意見
A病院	①知っている	②概ね実施している		無回答	
B病院	①知っている	②概ね実施している		②統一書式以外(事業所で作成したもの等)を使用している	
C病院	①知っている	③半分程度は実施している	・短期間の入院の方や状態に大きな変化のない患者様について、入院時情報提供なかった方は、情報提供を行わないケースがある。	②統一書式以外(事業所で作成したもの等)を使用している	
D病院	①知っている	④あまり実施していない	・情報シートでの情報提供は、ent前カンファレンス実施時に行っています。他は口頭での情報提供を、主に入院時に連携がとれた居宅と行っています。	①統一書式を使用している	
E病院	①知っている	③半分程度は実施している	・全ての利用者へ連携室が介入していないため。連携室の人員が充実しましたら、より連携ができるかと思いますが…。申し訳ありません。	①統一書式を使用している	・シートの内容では不十分、又はスペースが小さく記入しづらい。
F病院	①知っている	①全ケースに実施している		②統一書式以外(事業所で作成したもの等)を使用している	

	入院時における『居宅介護支援事業所(又は地域包括支援センター)から医療機関へ』の「入院時情報共有シート」				
	4-1)情報提供について	4-2-1)入院後における活用状況	4-2-2)①②どんな点が役立っていますか	4-2-2)③④活用されにくい理由	4-3)その他意見
A病院	②概ね情報提供がある	①大いに活用できている	・患者の様子がわかる(独居、意識レベル低下者など)。		
B病院	④あまり情報提供はない	②まあまあ活用できている	・患者様の入院前の生活状況を把握し、ゴールの目標設定に活用している。		・4(1)の回答が④となった理由は、ほとんどの居宅事業所から情報提供いただいているが、各々の事業所の形成でいただいているから。
C病院	④あまり情報提供はない	②まあまあ活用できている	・入院前の身体、生活状況、サービス利用の把握ができ、退院に向けた調整の参考となる。		
D病院	②概ね情報提供がある	①大いに活用できている	・入院中の過ごし方やリハビリの目標設定、転院時の情報提供。		
E病院	③半分程度のケースに情報提供がある	②まあまあ活用できている	・大まかな情報はわかるが結果的には他にいただく情報が必要。家屋状況や家族環境等が、退院調整に必要になってくる。		・生活状況が見えづらく、ケアマネさんによって情報がまちまち。ADLの詳細が、簡単につけられるよりチェック式になっているが、記入できるスペースを設けて、詳細がわかるようにしてほしい。
F病院	⑤ほとんど情報提供はない	無回答			

	入院時における『訪問看護ステーションから医療機関』への「訪問看護要約」			6) 高齢者等施設(特養・老健・有料老人ホーム・グループホームなど)への退院時に「情報提供」を何か行っていますか	
	5-1)入院時における情報提供	5-2)入院後における活用状況	5-3)その他意見		
A病院	②概ね情報提供がある	①大いに活用できている		①行っている	a.b.d(退院時情報共有シートをADLの表に作り直して使用している)
B病院	④あまり情報提供はない	②まあまあ活用できている	・5(1)の回答が④となった理由は、各々の訪問看護ステーションの形式で情報提供いただいているから。	①行っている	a.b.d(カンファレンスやお電話、リハビリサマリ等)
C病院	②概ね情報提供がある	②まあまあ活用できている		①行っている	a.b
D病院	②概ね情報提供がある	①大いに活用できている		①行っている	a.b.d(口頭で状況の説明)
E病院	④あまり情報提供はない	②まあまあ活用できている	・ケアマネさんからは情報が来ますが、訪問看護さんからはあまり来っていないイメージです。	①行っている	a.b.c(cは場合による)
F病院	無回答	無回答		①行っている	a.b

a.診療情報提供書(医師-医師)  
 b.看護要約(看護師-看護師)  
 c.退院時情報共有シート  
 d.その他

7) 遠賀中間地域における、医療・介護職間の連携体制についての意見

A病院	・以前に比べて情報共有シートを使用して情報を下さる事業所が増えているように思います。
B病院	・コロナ禍で医療も介護も大変な状況が続いています。今だからこそ必要な連携を色々な方法を考えながら行っていけたらと思います。今後ともよろしく願いいたします。